

2021 年度 特別重点研究助成実施状況報告書

2022 年 4 月 1 日

学 長 殿

研 究	所属・職	文学部・教授
代表者	氏 名	山田 邦明

研 究 課 題	愛知大学等における歴史的建造物の調査・研究
研究の中心となる 研究所	総合郷土研究所
研究実施状況の概要 研究成果の公表、学内・学外機関による評価の実施、外部資金獲得への取り組み状況等についても記述してください。	
・本年度（2021 年度）は特別重点研究の 2 年目にあたり、当初の実施計画は以下の通りであったが、新型コロナウイルス流行の影響により、「④陸軍師団にかかわる歴史 GIS データベースの構築、建造物の立地分析」「⑥講演会・研究会等の開催」「⑦研究成果にかかわる展示・見学会等」は遂行することができなかった（2022 年 1 月 22 日に講演会・建物見学会を開催する予定で準備を進めたが、新型コロナウイルスの流行により中止を余儀なくされた）。 ① 愛知大学の建造物にかかわる資料収集、歴史的経緯の研究 ② 陸軍第十五師団にかかわる歴史的建造物の確認・調査 ③ 陸軍師団にかかわる歴史的建造物の見学・資料収集 ④ 陸軍師団にかかわる歴史 GIS データベースの構築、建造物の立地分析 ⑤ 愛知大学の歴史的建造物に対する地域住民の意識調査 ⑥ 講演会・研究会等の開催 ⑦ 研究成果にかかわる展示・見学会等 ・「①愛知大学の建造物にかかわる資料収集、歴史的経緯の研究」については、陸軍第十五師団に関わる文献史料を多数発見できたことが大きな成果といえる。主要なものは以下の通りである。 (1) 防衛省防衛研究所戦史研究センター所蔵史料…陸軍省の「大日記」など (2) 豊橋市役所所蔵史料…「高師村村会議事録」「高師村村会決議書」 (3) 日刊紙『新朝報』の記事…豊橋市図書館の新聞データベースより (4) 陸軍第十五師団兵営等敷地工事設計書…豊橋市中央図書館に複写が所在 このうち (1) (2) (3) については、明治 40 年（西暦 1907 年）から明治 44 年までのものを翻刻し、年次報告書に収録した。また、これらの史料をもとに陸軍第十五師団設置の経緯などを整理した論考（山田邦明「陸軍第十五師団の設置―建設工事と環境整備―」）をまとめ、年次報告書に収めた。 また、豊橋市図書館・豊橋市美術博物館・豊橋市文化財センター・二川宿本陣資料館に赴いて、陸軍に関わる写真の所在を確認し、資料の収集も行った。 ・「②陸軍第十五師団にかかわる歴史的建造物の確認・調査」については、愛知大学豊橋校舎やその周辺にある門柱・哨舎などの建造物、排水路・排水溝などの確認作業を進めた。また、豊橋校舎の「哲学の森」に移築された古墳石室に関わる研究を進め、ここにある盛土は古墳ではなく、陸軍の時代から存在した築山であるとの推測に至った（年次報告書所収の廣瀬憲雄「愛知大学豊橋校舎に移築された古墳石室」）。 ・「③陸軍師団にかかわる歴史的建造物の見学・資料収集」については、陸軍第十五師団と同時期に設置された陸軍第十七師団の跡地である、現在の岡山大学とその周辺に赴き、旧陸軍関係の建造物や遺構の存在を確認し、関連資料の収集を行った。 ・「⑤愛知大学の歴史的建造物に対する地域住民の意識調査」については、愛知大学豊橋校舎の周辺の住民などを対象とするアンケートを実施した。1100 枚ほどを配布し、3 割を超える回答を得た。 ・本年度の研究成果を早めに公開するため、『愛知大学特別重点研究 愛知大学等における歴史的建造物の調	

査・研究 年次報告書—2021 年度—』を編集・刊行し、前述の論考二本と陸軍第十五師団に関わる史料の翻刻（明治 40～44 年の分）を収録した。

- ・外部資金獲得への取り組みとして、科学研究費の申請を行った（基盤研究 B 「日本近代における軍隊と建造物・立地環境に関する総合的研究」）。